

地域密着型金融の取り組み

■ 地域密着型金融の考え方

- 第22次経営計画（2023年4月～2031年3月）の戦略の柱「サステナビリティ」で定めたマテリアリティ「健全な地域経済の成長への支援」を実践することで、社是の体現を目指します。
- 地域社会を支える金融機関として、課題解決に向け真摯に取り組むことで、2030年ビジョン「お客さまとともに成長する地域No.1金融グループ」の実現を目指します。

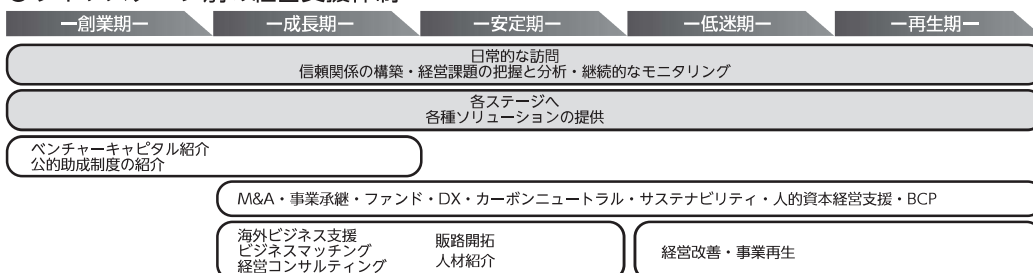
■ 地域密着型金融の取組方針

(1)お客さまに対するコンサルティング機能の発揮
① 日常的・継続的な関係強化を通じ、事業性評価（事業内容や成長可能性、および経営の目標や課題の把握・分析）をします。
② 事業性評価を通じ、最適なソリューションを提案します。
③ お客さまとともに経営課題の解決に取り組む、必要に応じてソリューションの見直しを提案します。
(2)地域社会の「まち・ひと・しごと」の活力向上への積極的な参画
① 地方自治体との連携を図りつつ、一体となり地域の面的再生への取り組みに積極的に参画します。
② 成長分野の育成や産業集積による高付加価値化をサポートします。
(3)地域やお客さまに対する積極的な情報発信
地域密着型金融の取組に関して、具体的な目標やその成果を地域やお客さまに対し積極的に情報発信します。

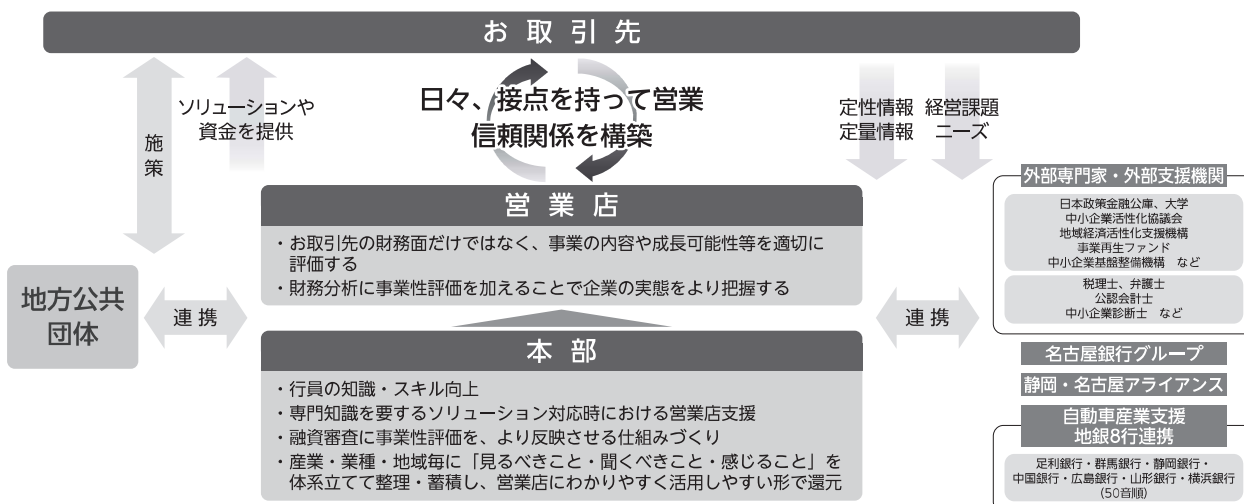
■ お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

- お客さまとの日常的・継続的なお取引を通じて得られた財務情報や市場環境、事業特性を基に事業性評価を行い、ライフステージに応じて適時・最適なソリューションを提案しています。
- 中長期的な人材育成やノウハウ蓄積の観点から、必要に応じ外部専門家や外部機関と連携するための支援体制を構築しています。

●ライフステージ別の経営支援体制



●事業性評価体制



<事業性評価に基づく融資を行っている与信先数*（2026年3月末時点）>

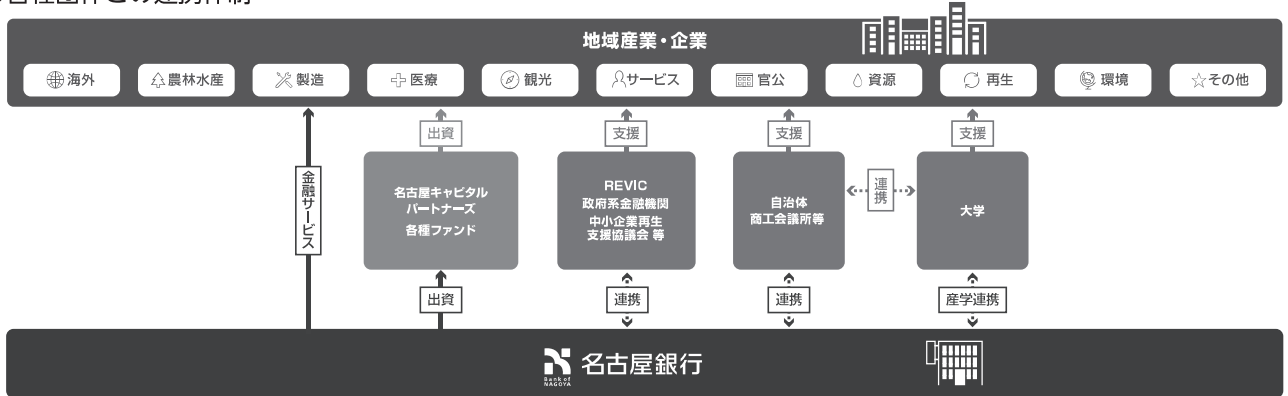
* 当行所定の「事業性評価シート」を策定した上で融資を行っている先

与信先数累計及び期末融資残高	9,494社（32.5%）
（全与信先及び当該与信先の融資残高に占める割合）	13,213億円（41.8%）

■ 地域社会の「まち・ひと・しごと」の活力向上への積極的な参画

- 中長期的な視点に立ち、経営基盤の地方自治体との連携を図りつつ、一体となり地域の面的再生への取り組みに参画しています。
- 各種の地域情報や関係機関からの情報を集積し、地域経済の課題克服や発展に貢献できるよう尽力しています。

●各種団体との連携体制



■ 地域やお客さまに対する積極的な情報発信

- 地域密着型金融の取り組みに対するお客さまの理解を深めるため、コンサルティング機能の発揮状況や地域社会の「まち・ひと・しごと」の活力向上に向けた取り組みを、積極的かつ具体的に発信しています。

●数値実績

<2025年度実績>

項目	実績
ESG投融资実行額	2,043億円
法人ソリューション業務取組件数	7,179件
創業計画の策定支援件数	224件

●経営者保証に関するガイドライン活用状況（2025年度）

	実績
新規に無保証で融資した件数	10,662件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	62.6%
保証契約を解除した件数	1,013件
ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	10件

●事業承継時における保証徴求割合（2025年度）

	実績
新旧両経営者から保証徴求	1.4%
旧経営者のみから保証徴求	19.8%
新経営者のみから保証徴求	62.2%
経営者から保証徴求なし	16.6%

●ライフステージ別の与信先数及び融資額（2025年度）

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数 (単体ベース)	29,192先	2,478先	3,794先	16,834先	1,113先	1,190先
ライフステージ別の与信先に係る 事業年度末の融資残高	31,621億円	1,631億円	3,313億円	15,328億円	527億円	819億円

※5期連続の財務データが無い先はライフステージ判定の対象外となるため、全与信先と各ライフステージの合計は一致しません。